

まちの話題

64選手が白熱のラリー ◆ユー・エス・イーカップ 国際女子テニス

5月13日から20日まで、新宝満川地区テニスコートなどで「ユー・エス・イーカップ国際女子テニス」が開催されました。10力国から64人の選手が出場。連日熱戦が繰り広げられました。20日に決勝戦が行われ、シングルスは清水綾乃選手が、ダブルスはプロディ・ナオミ選手（イギリス）とムハマド・エイシア選手（アメリカ）が優勝。来場者は緊迫したゲームに見入っていました。



シングルスを制した
清水綾乃選手

標高差156mを懸命に ◆陸自幹部候補生が 高良山登山走



ゴールを目前に、
最後の力を振り絞る走者

陸上自衛隊幹部候補生学校の伝統行事「高良山登山走」が、5月17日に行われました。この行事は、全国で唯一の陸自幹部候補生学校が久留米に開校した翌年、昭和30（1955）年に始まりました。コースは高良内町の同校から高良大社前までの5.6kmで、標高差が156mあります。今回は238人が、過酷な試練に挑みました。

くるめ学生通信

35

起業家・創業者が「飛び立つ」まちに

市内の大学生が、久留米市の仕事などを取材し、学生目線で発信するシリーズです。
◎広報課（☎0942・30・9119、FAX 0942・30・9702）



▲東町公園の西側にあるくるめ創業ロケット
▼取材を行う久留米工業大学4年の中島漉一さん

街なかを歩いていると、「くるめ創業ロケット」という施設を見つけたんだ。市の施設らしいけど、何をする場所なんだろう。新産業創出支援課の職員に聞きました。

——創業支援って何をするの

市内には、事業を起きたいと思っている人はたくさん居ます。でも、何からしたらよいか分からず、ためらう人も多いんです。そうした人たちの後押しするのが、私たちの仕事です。例えば、先輩起業家を招いたセミナーや、女性起業家の交流会など、起業に関する知識を得るための勉強会を開いています。また、創業資金を借りやすくするために、利子・保証料を補助しています。

久留米で起業する人が増えれば、仕事や雇用が生まれます。そうすれば、住む人が増え、まちの活性化につながるんですよ。

——「くるめ創業ロケット」はどんな施設なの

起業を考えている人や、将来起業の可能性がある人の夢の実現を応援するため、平成28年に市が設置した「創業支援施設」です。ここでは、起業情報の収集や常駐のスタッフに起業に関する相談などができます。また、オフィススペースを併設していて、市場価

格より安く貸しています。

さらに、小規模事業者のための経営相談所「県よろず支援拠点」から、さまざまな実績や経験を持つコンサルタントを招き、創業・経営セミナーを開催。個別の相談も行っていて、今はテレビ電話を使った相談が、専用スペースを増設するほど人気なんです。どれも無料です。

3月末までの施設利用者は877人、セミナー参加者は1935人。利用者は徐々に増えています。

——学生の僕たちにも関係ありますか

もちろんです。今は将来の職業選択の一つに「起業」を考える人を育てる事業に特に力を入れています。例えば、久留米商業高校

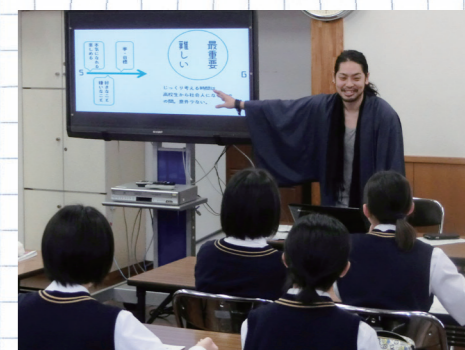


創業ロケット入居者の事務所を見学。業務中の雰囲気を感じました

「やりたいことさえあれば、誰でも起業できる」と聞き、起業が身近になりました。また、創業を目指す人への支援だけでなく、未来の創業者発掘のため、学生や子ども向けの事業があることに驚きました。

ここから輪が広がり、久留米が活気にあふれてほしいと願っています。

また、小学生を対象としたプログラミング教室も開催しました。大学生が企業などと一緒に地域課題の解決に取り組むことで、起業家精神を育むプロジェクトも進んでいるんですよ。



5月21日、久留米商業高校の授業に、地域おこし協力隊員の宗司さんが登壇。ビジネスプランを立てる時のヒントを解説

市政の動き

「話してほしい あなたの気持ち」 自殺対策で書店と協働



作成したしおりとポスター。しおりはレジでもらえます

久留米市保健所は、心の相談窓口や、周囲の人を守る「ゲートキーパー」などを知ってもらうためのグッズを作成しました。

セーフコミュニティの取り組みの一つ「自殺対策」として実施。5月は、生活環境の変化や大型連休の疲れなどで、ストレスがたまりやすい時期です。そこで、「話してほしい あなたの気持ち」「命を守るゲートキーパー」という標語や連絡先を載せたしおりやポスター

を作り、市内の5書店に協力を依頼。本を買った人に配ったり、店内に貼ったりしてもらっています。

平成28年、市内の自殺者数は52人。30～50歳の男性が最も多く、そのうちの4割を占めています。今年度策定する自殺対策計画などに基づき、市は今後もさまざまな自殺対策の取り組みを進めます。

◎保健予防課（☎0942・30・9728、FAX 0942・30・9833）